



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：ムバーラク大統領のスピーチ

(エジプト国営テレビ)

1日午後11時ごろ（現地時間）、ムバーラク大統領は国営テレビを通じて国民向けスピーチを行った。

なお、1日には反政府運動団体の呼びかけにより、カイロ他主要都市で過去最大の数十万人規模のデモが発生した。カイロ中心部のタハリール広場に集結していたデモ隊は、ムバーラク大統領のスピーチ内容に満足しなかったようだ。彼らは、引き続きスムーズな政権移行とムバーラク大統領の退任を求めている。

大統領のスピーチ概要

国家は現在、厳しい試練に直面している。そして、国民は、自らの関心事項を表現するために平和的な方法をもって自らの権利を行使していた。しかし、すぐに、これらの人々は、無秩序を呼び起こし暴力と非合法行為に訴えようとする者たちの手によって利用されてしまった。

その結果、表現の自由を行使するという文明的な方法は、略奪・暴動・放火・国家財産への侵害・外交団への侵入行為等をもって、状況を緊張させ、火に油を注ぎ、国家の安全と安定を標的にしようとした政治勢力により悲しむべき対立へと変化した。

この数日間の出来事は、我々全ての国民に対して、無秩序と安定との間の選択を迫ることとなった。そして我々は目の前につきつけられた新たな状況、異なる現状に対して、国民および軍とともに、最大限の知見とエジプト国家・国民の利益への関心をもって対応していかなければならない。

私（ムバーラク大統領、以下同）は、国民の要求に応えるために、最優先事項を基に新政府の組閣を行った。そして、副大統領に、全ての政治勢力と、政治改革・民主改革のためのあらゆる重要問題、そして、そのための憲法および法律の改正、治安と安定の回復等について対話を行うよう命じた。しかし、政治勢力の中には、自らに特別なアジェンダに固執し、エジプトの現状に鑑みることなく、この対話の呼びかけを拒否する者がいた。

私のこの対話への呼びかけ、——これはまだ呼びかけ続けている所であるが——、への拒否を受け、本日、私は、農民、労働者、イスラム教徒、コプト教会信徒、全国の老若男女、そして全てのエジプト国民に対して真剣な思いを直接伝えたい。

私の現在の第一の責任は、治安と国家の安全の回復である。これは、次期大統領選挙で国民が選ぶ大統領へとこの責任を移譲することができる状況の中で、政権の平和的移行を実現するためである。

そして、現状を見つつ、私は次のように言いたい。私は、次期大統領任期に立候補する意図はなかった。エジプトとその国民への奉仕において十分な歳月を過ごしたのである。私は、祖国のために自らの任務を終了する意志がある。

私は、現在の任期の残された期間に、憲法によって委任された義務に従い、政権の平和的移行を実現するための手続き・措置をとるために努力する。私は、人民議会、シューラー評議会に対して、大統領選挙の立候補条件や大統領任期の改定のため、憲法第 76 条、第 77 条の改定の審議を呼びかける。

私は、議会に対して、遅滞なく、先般の人民議会選挙への不服申立て裁判判決を執行するよう要請する。

私は、雇用機会の創出、貧困対策、社会公正の実現のための国民の政治的改革、経済的改革的要望を実現するためにも新政府をフォローしていく。

私は、警察機構に対して、国民への奉仕・保護においてその役割を果たすように指示する。

エジプトは、現在の状況から、より大きな信頼と結束と安定をもって脱却するだろう。そして、我々も国家とともにそこから脱却するだろう。

私、ホスニー・ムバーラクは、長い年月を国家と国民のために仕えたことを誇りに感じている。この親愛なる祖国は、全てのエジプト国民の祖国であるように、我が祖国でもある。私は、祖国で生まれ、祖国のために闘い、祖国の主権と領土を守ってきた。そしてこの土地で死ぬだろう。国民は残り続ける。古代からのエジプトは永遠に残るであろう。その旗と安定性は世代に受け継がれていく。誇りと尊厳をもってこれを保証するのは、我々次第である。